

Q&A

(2020年11月19日更新)

《カテゴリーについて》

カテゴリー I と II のレベルの違いは何ですか？

→カテゴリー I は、趣味や教養でお習いの方が参加し易い自由曲のみによる審査で、地区大会のみ開催します。

対してカテゴリー II は、地区大会を予選とし、上位入賞者は全国大会出場権が授与されます。任意のエチュードと自由曲を課題とし、審査分数もカテゴリー I に比べ長く、専門でお習いの方やチャレンジしてみたい方を対象としていますので、レベル的には難しいカテゴリーになります。

カテゴリー I +カテゴリー II は、それぞれのカテゴリーで演奏して審査を受けて頂きます。複数曲をお持ちの方、沢山演奏したい方、カテゴリー II では少し不安な方などを対象としています。

《繰り返しカットや抜粋について》

自由曲に関しまして、スケルツォなどは同じ内容を繰り返しますが、その場合、一回分をカットしたり一部抜粋をして演奏することは可能でしょうか？そしてその場合、「カットあり」との旨を、申し込み段階で明記するべきでしょうか？

→繰り返しのある自由曲のカットは任意。申告や申込用紙に、「カットあり」や「一部抜粋」などご記載をお願いします。

《審査分数について》

カテゴリー II 小学校高学年が、5分程度とありますが、自由曲5分半に、バッハが1分を少し越えるものを付けて提出ですと、既に7分近いプログラムになりますが、大丈夫でしょうか。エチュードが2分に満たない場合でも自由曲は3分で切られますか？それとも合計5分までは弾けますか？

→演奏分数ですが、呼び出し時間通知の際に等しくアナウンスしますが、エチュード(バッハ)は2分でカット合図をし、その後続いて自由曲を演奏していただきます。合計5分のところでカット合図が入ります。プログラムは審査分数以上で構いません。また、エチュードが2分に満たない場合はエチュード演奏後そのまま続けて自由曲をお弾きいただき、エチュードと自由曲の合計5分でカット合図となります。

エチュードと自由曲とあわせて、7分以内になるように申し込んだのですが、エチュードのほうが曲が長いので、3分で切られてしまいますと、合計が5分ほどしか演奏出来ないことになるのですが審査には影響ないのでしょうか？

→ありません。

カテゴリー II 小学校高学年の審査分数は5分程度とありますが、エチュードと合わせても4分強くらいです。審査に影響はありますか？

→ありません。

一般のカテゴリー I での参加を検討しています。審査の時間は5分程度と記載がありますが5分以上～6分程度であれば大丈夫でしょうか？

→大丈夫です。

審査分数を満たなかったら失格とかなるのでしょうか？

→失格にはなりません。但し、過度に短い場合(例えば合計演奏分数が30秒など)は減点対象になります。

下記に続きます

審査の時間は、舞台に立ってからでしょうか？演奏始めてからが審査の時間でしょうか？

→原則としては審査分数には出入りを含ませて頂いております。但し、椅子の調整に滞りが見られる等、何らかのアクシデントがあった際は異なります。審査分数は〇〇程度と記載させて頂いております為、当日の進行状況や参加者人数により若干前後する場合がございます事をご承知おきます。

《カテゴリーⅡ課題について》

「バッハまたはエチュード」とありますが、バッハは組曲だけでしょうか？インヴェンション、シンフォニアなどは課題には含まれないでしょうか？

→組曲だけではありません。インヴェンション、シンフォニアも含まれます。

エチュードは、作曲家など指定はありますでしょうか？チェルニーやバイエルなども含まれるのでしょうか？

→指定はありません。チェルニーやバイエルなども含まれます。

バッハはJ.S. バッハだけでしょうか。

→フリーデマンやエマニュエルも含まれます。

以上